

Kanada Town Public Relations

# 広報カナダ

No379

1999  
7/15号



## 雲海

雲海というのは、二千メートル以上の高い山から見る雲が海のようにいっぱい広がった風景のことです。高層雲が一面に広がり、その上  
が平ら、または波立つようになって海のように見えるのです。

雲海は夏の季節語になっていますが、夏は登山しやすい季節で、この現象を見ることが多いからでしょう。

しかし、雲海を詠んだ句は少ないようです。昔はレジャーより、信仰のために山に登る人が多く、一句詠むという余裕がなかったのでしょうか。現在は登山道、登山自動車道などが整備され、ロープウェイやケーブルカーも利用でき、昔に比べて山頂近くまで行くことは容易であることを思えば、時代の違いを感じます。

山で最も感動的なのが、雲海などから太陽が上がる、ご来光らいこうの瞬間です。ご来迎らいこうともいいますが、日の出や日の入りするとき、高山で雲に映えた自分の影や光の環わが見える様子”ブロッケン現象”を、ご来迎と呼ぶこともあります。